

墨子

2016 年追試

問 4 次の文章は、墨子が理想と考える人間社会のあり方を説明したものである。

・ に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

墨子は、家族や国家を超えて、すべての人を無差別平等に愛する兼愛の必要を唱え、それは によって実現できると説いた。さらに、人々が平和に暮らせる戦争のない社会を実現するためには、兼愛とともに が重要であると主張した。

- ① a 交 利 b 非 攻
- ② a 交 利 b 平天下
- ③ a 慈 悲 b 非 攻
- ④ a 慈 悲 b 平天下
- ⑤ a 中 庸 b 非 攻
- ⑥ a 中 庸 b 平天下

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	14	①	2

2010 年追試

問 4 墨子が説いた思想の内容の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 他者への思いやりとまごころが理想的な愛であると説き，ひたすら他者を利して見返りを求めてはならないとした。
- ② 自他を区別しない無差別で平等な愛を説き，他者を愛し利をもたらすことによって自分にも利がもたらされるとした。
- ③ 人間の本性とは利を求めて害を避けるのものであると説き，賞罰によって法律を厳しく守らせなければならないとした。
- ④ 人間は生まれつき悪を本性としていると説き，それを制御して道徳的人格を完成させるために，徳を身に付けなければならないとした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	8	②	3

2008 年追試

問 4 古代中国においては、墨子が、身分や立場にかかわらずすべての人を平等に愛する兼愛を説いていた。兼愛に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 兼愛は、聖人になる可能性を共有する人々が、聖人を目指して礼を学ぶことによって実現されるものである。
- ② 兼愛は、人々の社会的地位によって差別されない法の公平な実施を基盤とするものである。
- ③ 兼愛は、人間だけでなく世界に存在するすべてのものが平等であるとする思想を実践の根拠とするものである。
- ④ 兼愛は、社会の構成員が自利に囚われず互いに利益を与え合う関係を作り上げることを伴うものである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	8	④	3

2004 年本試

問 6 儒教の「仁」と墨家の「兼愛」の相違を述べる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 儒教の仁は惻隱そくいんの心に基づき、自他の区別を一切たてないが、墨家の兼愛は自分を捨て、他者のために利することを第一とする。
- ② 儒教の仁は弱者に対するものであり、まず女性や子どもに向かうが、墨家の兼愛はまず貧しい者に対するものであり、「憐れみ」と呼ぶべきである。
- ③ 儒教の仁は近きより始まるもので、まず近親に対するものであるが、墨家の兼愛は無差別の愛であり、親疎の関係に基づくものではない。
- ④ 儒教の仁は「忍びざるの心」と言われ、見過ごしにはできないという単なる気持ちだけだが、墨家の兼愛は行動的な博愛主義である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	7	③	3

2002 年追試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

中国思想の主流となったのは孔子が確立した儒教であったが、社会秩序の維持は
自然な家族愛にもとづいて達成できるとする儒教の考え方に批判的な思想家もいた。
 を説いた墨子はその一人である。

① 友愛 ② 仁愛 ③ 兼愛 ④ 慈愛

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	2	③	2